

2017年3月期 決算説明会



サンケン電気株式会社

2017年5月10日

2016年度 通期 連結業績

(億円)

	15年度	16年度			前期比 (%)	業績予想	達成率 (%)
	通期	上期	下期	通期			
売上高	1,559	761	827	1,588	101.9	1,560	101.8
デバイス	1,251	626	667	1,293	103.4	1,271	101.7
PM	159	82	80	162	101.9	157	103.2
PS	149	52	81	133	89.3	132	100.8
営業利益	68	22	37	59	86.8	70	84.3
経常利益	38	14	36	50	131.6	55	90.9
特別損益	-17	-2	-2	-4	-	-	-
当期純利益	2	-1	18	17	850.0	25	68.0

為替レート: 2015年度 120.15円/US\$ 2016年度 108.39円/US\$ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出



2017年度 通期業績 予想

(億円)

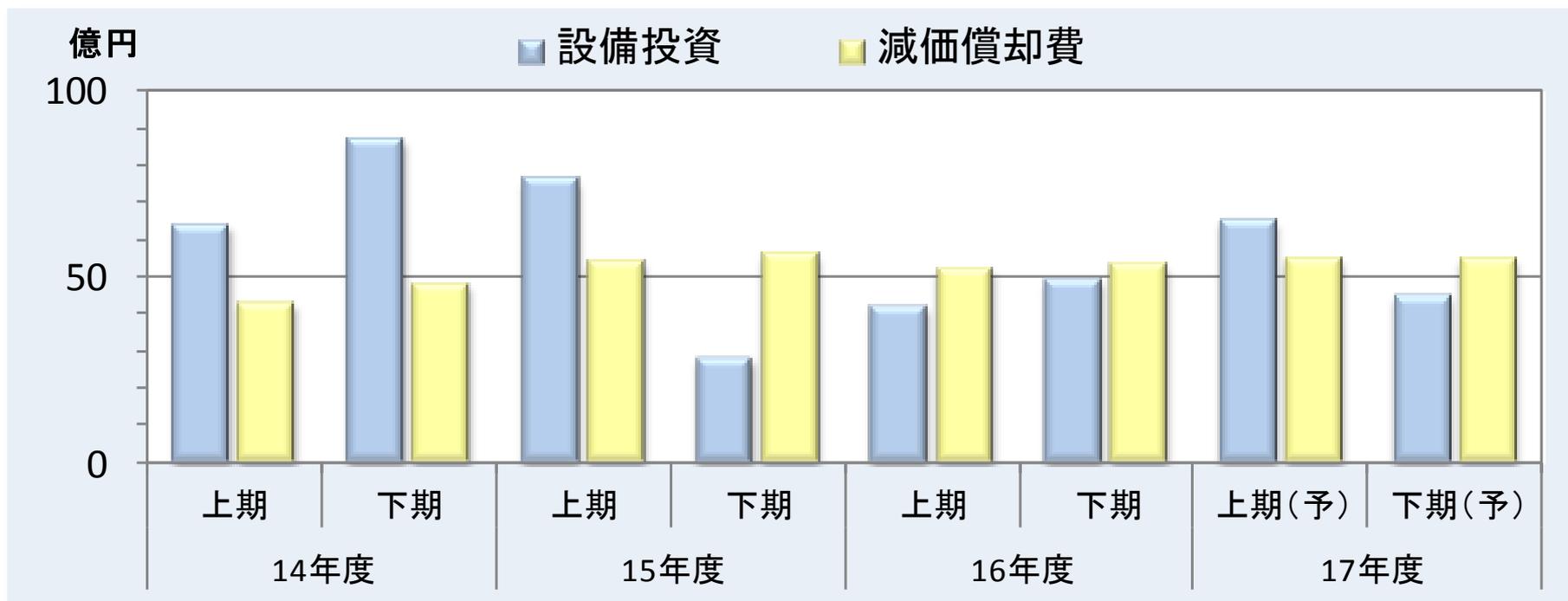
	16年度 実績			17年度 予想			前期比	
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	金額	率 (%)
売上高	761	827	1,588	785	805	1,590	+2	+0.1
デバイス	626	667	1,293	658	658	1,316	+23	+1.8
PM	82	80	162	62	62	124	-38	-23.5
PS	52	81	133	65	85	150	+17	+12.8
営業利益	22	37	59	27	46	73	+14	+23.7
経常利益	14	36	50	21	39	60	+10	+20.0
当期純利益	-1	18	17	2	23	25	+8	+47.1

・ 為替レート: 105円/US\$

※ 前期比率は本表に示した億円単位の数値から算出



設備投資・減価償却費



17年度 設備投資110億円（国内50）、減価償却費110億円（国内50）

国内	海外
石川 : 車載・白物ライン増強、合理化投資	AML : フィリピン工場増産、タイ工場生産設備
福島 : メジャー能力増強	大連 : 車載・白物ライン増強
山形 : 安定生産のための必要最低限投資	SKI : 車載ライン増強
	PSL : 安定生産のための必要最低限投資

将来に関する記述についての注意事項

この資料に記載されている当社及び当社グループに関する業績見通し、計画、方針、戦略、目標、予定、判断、認識などのうち既に確定した事実でない記述は、将来に関する記述です。これら将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報と合理的と判断する前提を基礎として作成したものであり、既知または未知のリスク、不確実性、その他の要因を含んでいます。従って、実際の業績は、これらのリスク、不確実性、その他の要因により、業績見通しと大きく異なる可能性があります。また、当社は、適用法令の要件に服する場合を除き、業績見通しの見直しを含め、将来に関する記述を更新あるいは修正して公表する義務を負うものではありません。

当社が属するエレクトロニクス業界は、常に急激な変化に晒されていますが、当社の業績や財産に重大な影響を与えるリスク、不確実性、その他の要因には、(1) 経済環境、市場・需給動向、競争状態、(2) 為替レートの変動、(3) 技術進化への追従の成否、(4) 原材料の高騰あるいは調達難、(5) 各国・地域における法制度の変更あるいは社会情勢の急変、(6) 偶発事象の発生などがありますが、これらに限定されるものではありません。